

## 平成 27 年度東京都立つばさ総合高等学校経営報告

### 1 今年度の取組と自己評価

#### (1) 教育活動への取組と自己評価

##### ① 学習指導

「学力向上推進プラン」を推進するとともに、学カスタンダードの導入を受けて生徒一人一人の学力向上を図った。朝学習の定着、小テスト・宿題・課題の頻出、夏季講習・補習等の充実に努めた。特に、夏季休業中を中心に全教員一人10時間以上の補習・講習の実施に努めた。学カスタンダードの結果は、基礎問題を選択した英語については平均点を上回り、応用問題を選択した国語・数学についてはわずかに平均点に届かなかった。1年次・2年次全員が「漢字検定」及び「英語GTECテスト」を受験し資格取得・検定合格への意欲を高めた。

3年次は、転出者と留学生（1名）以外の225名、全員が卒業できた。最大修得単位数88単位以上取得生徒が200名を超えた。

資格・検定や技能習得の奨励については、「漢字検定」2級に8名、「英語検定」2級に4名、準2級に12名、「ビジネス文書実務検定」1級に5名、2級に6名合格し、学外による学習単位として認定した。3級合格者は多数いる。他にも全国商業高等学校長協会の「簿記実務検定」2級2名、3級10名合格、「講道館柔道」初段10名、福祉科の「手話技能検定」合格者、「知的障害者移動支援従業者養成研修」修了者、「全身性移動支援従業者養成研修」修了者、「同行援護従業者養成研修」修了者等も合わせて114名でている。今年度は、介護職員初任者2級、陸上特殊無線技士2級、危険物取扱者（乙種4類）の取得者もでた。

##### ② キャリア教育

3年間を見据えたキャリア教育全体像の改善を進めた。各種補習・講習（放課後・土曜日・長期休業中）、AO入試対策、推薦進路研究、個別指導の充実などに組織的に取り組んだ。1年次の「産業社会と人間」、2・3年次の「総合的な学習の時間」の内容及び指導体制を充実させ、1年次職場訪問、2年次上級学校訪問等の効果的な接続を図った。1年次「職業人インタビュー発表会」2年次の「修学旅行事前事後学習発表会」3年次「課題研究発表会」を実施することができた。

進路実績として、大学では、青山学院、東京女子医科、国学院、武蔵、学習院女子、成城学園、明治学院、東農大、日大、東洋、駒澤、専修、亜細亜、関東学院、国士館、神大、日体、桜美林、多摩美術、昭和音大等の上位・中堅大学に合格しており。就職では税務、消防、警察の公務員合格者もいる。

##### ③ 生活指導

全教員で、挨拶、身だしなみ、授業態度等、基本的生活習慣の確立と学校規律の向上に取り組んだ。身だしなみ指導については、男子のシャツだしや、女子のスカート丈等の制服着装について、改善の必要がある。自転車通学マナーに関する指導の充実を図った結果、外部からの指摘はほとんどなかった。

保健主任及びスクールカウンセラーを中心に、生徒一人一人の相談体制の充実を図った。1年次は全員面接を実施し、いじめ、不登校、問題行動等の未然防止に努

めた。特別指導件数は4件に抑えることができたが、一方で遅刻者が多く、改善策を講じる必要がある。

#### ④ 健康づくり

生徒の健康づくりについては、保健環境部を中心に、SCや専門医を交えた特別支援教育部会を毎月開催し、不登校や発達障害等、課題のある生徒への積極的な関わり方を研修し、実践を行っている。いじめ対策委員会は必要に応じて招集し、SCを巻き込んだ課題解決に向けた具体的な取り組みを迅速に行った。

#### ⑤ 特別活動

部活動においては、陸上競技部は男子3000mSC、男子4×100m、女子100m、女子400mH、女子走り幅跳び、女子4×100mリレーで関東大会出場を果たした。また、硬式テニス部は、男子が東京都立高等学校大会においてシングルスで優勝、ダブルスで第3位となった。他の多くの大会でも上位進出を果たしている。バドミントン部は男子新人団体戦の都・東地区でベスト16、工業高校大会団体戦で女子は4連覇、男子は2連覇、個人戦では、男女とも2連覇を達成した。女子バスケット部は、関東大会予選とインターハイ予選ともにベスト32となった。サッカー部は全国高校サッカー選手権大会都一次予選で4回戦まで進出した。水泳部は都新人水泳競技大会に出場し、男子個人メドレーで8位入賞を果たした。ハンドボール部は女子が公立高校大会でベスト8、新人戦でベスト32となった。吹奏楽部は都高等学校吹奏楽コンクールBⅡ組で金賞を受賞、都高等学校アンサンブルコンテストでもクラリネット5重奏、金管5重奏でそれぞれ銀賞を受賞した。イラストレーション部は、羽田地区町会連合会主催ふれあい祭りのポスターに選抜された。

そのほか、多くの部活動が地域小・中学校との交流練習に励むとともに、地域イベントに参加・協力しており、近隣住民の方から喜ばれている。

飛翔祭（体育祭）では平日にも関わらず300人以上の保護者が詰めかけ、銀翼祭（文化祭）は2000人を上回る来場者で賑わった。

#### ⑥ 特色ある教育活動

都立高初のISO認証校として、すべての教育活動で環境教育を推進し、省エネ、再利用、再資源化に努め、ISOサーベイランスにおいて優良の評価を得た。長年の取組が米国環境保護局にも認められ、ジーナ・マッカーシー長官をお迎えする名誉が与えられた。高校生環境サミットin Tokyoも今年度で第12回を数え、高校生、大学生、民間企業、NPO団体等、出展団体が拡大するとともに、参加者も昨年より60名も増加した。学校設定科目「環境」、カーボン・オフセット事業への協力等、昨年導入した取り組みも定着してきた。国際文化理解教育を充実させた結果、東京グローバル・ユース・キャンプに3名選抜された。

#### ⑦ 募集対策活動

本校の特色及び総合学科教育の理念・特色を、学校説明会、出張授業、中学校や塾訪問などを通して積極的に発信し、募集対策の充実を図った。生徒の学習活動の様子や作品を積極的に公開し、生徒の生き生きとした姿を伝えた。また、HPの更新速度を上げるとともに、SNSを導入し、ツイッター（公式）により、生徒の活躍等をタイムリーに紹介した。

推薦入試においては2.85倍、学力検査においては1.29倍の応募倍率であり、例年よりやや振るわなかったため、一層の広報活動の工夫が課題である。

⑧ 学校経営・組織体制

開校以来 14 年目を迎え、系列やキャリア教育の在り方等、本校のこれまでの総合学科としての課題を整理するとともに、学校の教育活動全般の課題解決に向けた検討を行い、再編した系列、「美術・デザイン」「国際・コミュニケーション」「科学・技術」「スポーツ・健康」「生活・福祉」が軌道に乗ってきた。希望進路に応じた自分だけの時間割で学んでいくことを指導した結果、科目履修相談期間は活況を呈した。全学級、二者及び三者面談等によりの確な履修指導と進路指導の充実を図った。

⑨ 防災教育

湾岸・河岸に位置する環境であるため、防災教育を推進する学校と捉え、防災教育の充実を図った。全校生徒が津波を想定した避難訓練を実施するなど、特色ある防災教育を展開している。2 年次は地域消防署及び蒲田消防団第五分団と連携した学校での宿泊防災訓練を実施し、自助・共助・公助の精神を学んだ。

⑩ その他

第 3 回東京都立総合学科高等学校教育活動成果発表会に初めて総合的な学習の時間（課題研究）で参加し、3 年次女子生徒が「社会福祉施設で必要とされる介護福祉士の役割とは」を発表し、好評を博した。

(2) 重点目標への取組と自己評価

(◎：大幅達成、○：達成、△：やや未達成、×：大幅未達成)

| NO | 項目     | 内 容                              | 評価 |
|----|--------|----------------------------------|----|
| 1  | 学習指導   | 学力向上推進プランを実行と学力向上                | ○  |
|    |        | 漢字検定や英語テスト等の実施を通じた国語力や英語力の向上     | ○  |
|    |        | 各教員が長期休業中を中心に一人 10 時間以上の補習・講習の実施 | ○  |
|    |        | 各種資格受検や技能習得の奨励                   | ◎  |
| 2  | キャリア教育 | 本校のキャリア教育全体像の策定                  | ○  |
|    |        | 「産業社会と人間」「総合的な学習の時間」の発表会実施       | ○  |
| 3  | 特別活動   | 対外試合の結果等、部活動の成果                  | ○  |
|    |        | 「つばさ総合高校としての部活動」の検討と共通理解作り       | ○  |
|    |        | 部活動と規律と自学習のバランス良い高校生活            | △  |
| 4  | 環境教育   | ゴミの分別等、ISO 活動の成果、高校生環境サミットの充実    | ◎  |
|    |        | 「全教員の環境授業年 1 回以上」の取組と節電対策等の実施    | ○  |
|    |        | 環境授業の充実、カーボン・オフセット等の新たな取り組み      | ◎  |
| 5  | 家庭・地域  | 全学年全生徒対象年 1 回の三者面談・保護者面談         | ◎  |
|    |        | 部活動地域貢献の拡充 地域小中学校等との連携           | ○  |
|    |        | PASTA との連携                       | ◎  |
| 6  | 募集対策   | 学校説明会での生徒の活動を紹介する取組              | ◎  |
|    |        | 入選倍率を推薦 3.0 倍、学力検査 1.4 倍以上       | △  |
| 7  | 経営・組織  | 防災教育を推進する学校の円滑実施と防災対策の充実         | ○  |
|    |        | 系列や教育課程の一層の充実                    | ○  |
|    |        | 事務管理・運営の効率化と安全で快適な学校環境の維持        | ◎  |

2 次年度以降の課題と対応策

| 課 題                          | 状 況  | 方 策   |
|------------------------------|--|---|
| 「キャリア教育」の充実<br>大学進学希望者増加への対応 | 3年間を見通したキャリア教育の充実を進めている。増加する大学進学希望者への受験指導のあり方を検討している。      | 「産業社会と人間」「総合的な学習の時間」を中核として、すべての教育活動で行うキャリア教育の充実。ファインシステム本格稼働による的確な進路指導。 |
| 学習習慣及び学力向上と基本的な生活習慣の確立       | 自学習の奨励。学力スタンダードの実施。小テスト・宿題・課題の頻出。講習・補習の実施。                 | 朝学習の充実。学力スタンダード結果の有効活用。模試の活用。デジタル式自学習の導入。読書活動の推進。                       |
| 特色ある教育活動の充実（環境教育・その他）        | 環境保全に対する一般生徒の意識がやや向上し、校内美化や省エネへの取り組みも積極性が出てきたが、十分とまでは言えない。 | 環境授業の充実。魅力ある高校生環境サミットを企画し、一般生徒参加奨励。ごみ処理や清掃の徹底等、美化意識の高揚。                 |
| 特別活動の活性化                     | 部活動や行事の充実化。地域貢献の一層の活性化。                                    | 部活動の実績向上。行事への集客数向上。部活動年1回地域貢献の奨励。                                       |
| 募集対策の更なる充実                   | 入学者選抜の応募倍率上昇を目指し多様な広報活動で、受験者数の増加を図る。                       | 学校見学会、学校説明会、出張授業、学校訪問、学習塾訪問等の充実。魅力的なHPの更新。                              |
| 総合学科教育理解の促進                  | 総合学科教育の理念の共通理解・共通実践が課題。                                    | 総合学科教育成果発表会等への関心を高める。校内研修の実施。   |
| 家庭との連携                       | PASTA との協力関係は順調、更なる連携が必要。                                  | 各行事、募集対策及び成果発表会等での連携強化。   |
| 危機管理、防災                      | 定期的な避難訓練。地域と連携した宿泊防災訓練の実施。                                 | 様々な災害を想定した避難訓練。宿泊防災訓練の一層の充実。  |